

仙台塩釜港の雷神ふ頭岸壁に「空洞」

～立入禁止区域を設定しました～

6月2日、仙台塩釜港仙台港区中野地区雷神ふ頭岸壁※において、コンクリート舗装の直下に空洞が発見されました。これは、現在、東北地方整備局において進めている岸壁増深工事のために、重機を岸壁上に載せたところ、沈下が発生したことから判明したものです。空洞発見後、ただちに当該箇所を立入禁止（延長39m×幅4m：別紙参照）とするとともに、港湾関係者に周知を行っています。

6月7日には、コンクリート舗装版をはがして調査を行ったところ、空洞の規模は、高さ約1.3m、幅約2m、総延長約20mと判明しました。

空洞の発生原因については、現在調査中です。今後、調査の結果を踏まえて対策を行うとともに、念のため、隣接する区域において同様な構造の岸壁でも空洞調査を実施することとしております。

また今後、本施設については、港湾管理者と連携しながら、維持管理のための計画を策定し適切に管理して参ります。

○今後の予定

- ・雷神ふ頭全域の空洞調査（削孔確認）を6/11までに実施予定
- ・空洞の補修は6/14の週から実施予定

※雷神ふ頭は、昭和54年に供用開始され、供用後31年が経過する施設で、完成自動車が取り扱われている。現在、東北地方整備局において、自動車運搬船の大型化に対応するとともに耐震性を確保することを目的として、岸壁を供用しながら岸壁改良（増深）（耐震）工事を実施中。

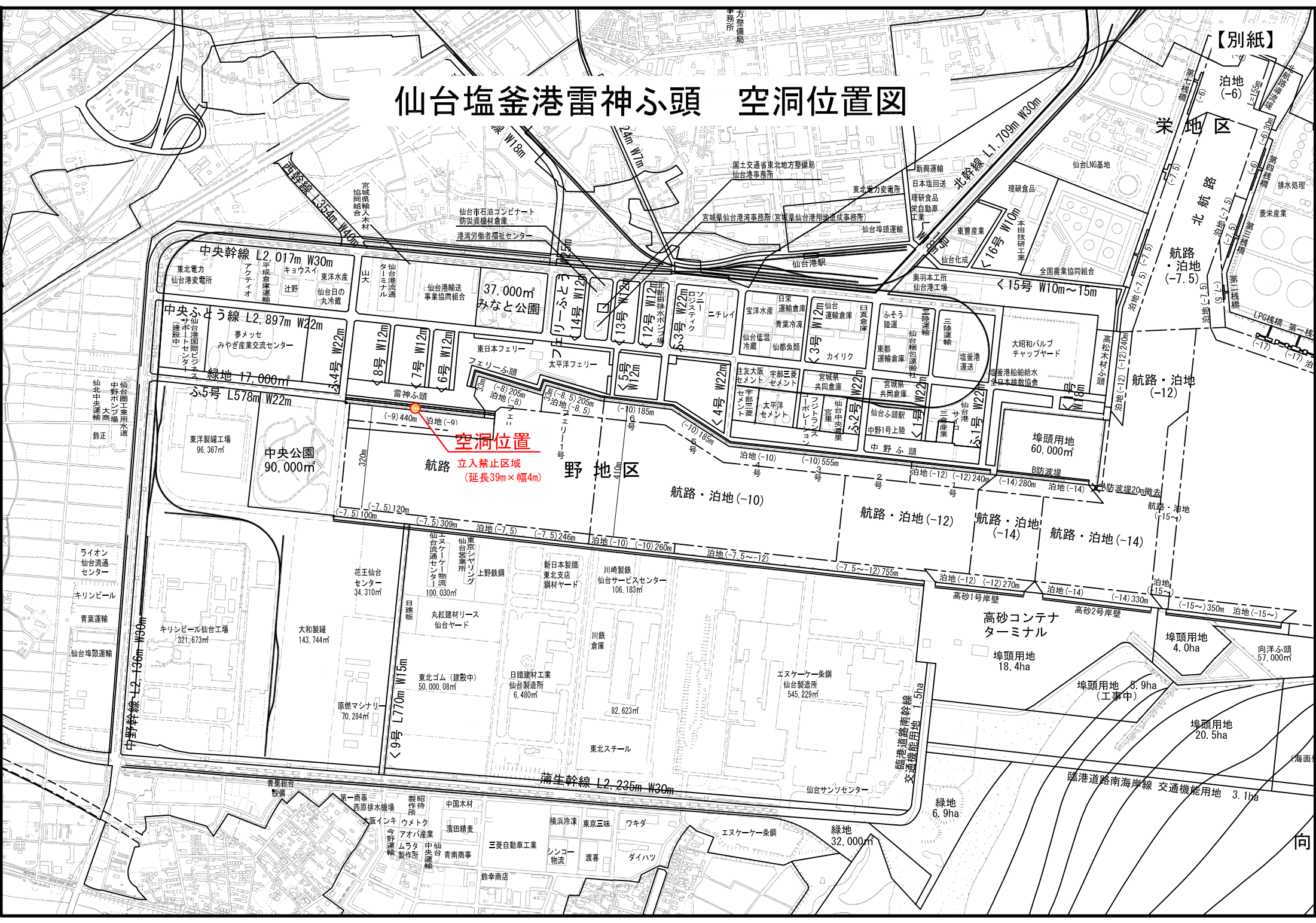
【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会】

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局	TEL 022 (362) 6211
塩釜港湾・空港整備事務所	副所長 東山 和博
	第1工務課長 畑田 武見

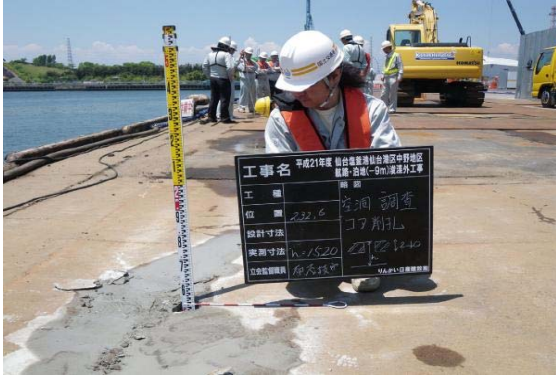
【別紙】

仙台塩釜港雷神ふ頭 空洞位置図



向

仙台塩釜港雷神ふ頭 空洞確認状況



○コアNo.2立会状況



○コアNo.2の周辺を1m×1mで切断し開口部を設けた。

○開口部から内部を撮影

